② 照明の省エネ事例（2）

高効率器具・反射板等の設置

「高出力型の照明器具」と「セラミックタイル床材」　セブン&アイホールディングスの事例

高出力型の照明器具とセラミックタイルを導入するとともに、蛍光灯の配置を見直すことで、従来85本使用していた店舗の蛍光灯を、54本まで減らし省エネを実施しています。

※これによって、1店舗当たりの電気使用量が年間約5,880kwh（約2.2t-CO_2相当）削減される計算となります。

1,500mm
（照明間隔）

●セラミックタイル（床）の採用
●高出力照明器具の採用
●配灯計画（本数・配置）の見直し

2,300mm
（照明間隔）

配当配列	照明数	消費電力量
7列	85本	22,300kwh/年

配当配列	照明数	消費電力量
4列	54本	16,424kwh/年 （▲26.3%）

照明の一斉消灯の実施　ワタミ（株）ブラックイルミネーションの取組

看板消灯において、外食・介護事業をはじめ、ワタミグループ本社での夏至の日に、20時～22時（ホームは19時～21時）で看板を消灯する取組。消灯した施設は全部で622施設（外食事業582店舗、介護事業39ホーム、本社1）。

※CO_2換算で42,016kg-CO_2の削減

東京都環境局